



個人投資家様向け会社説明会

2018年12月 6日
ガバナンス推進部 経営 I R 課

証券コード：6361

Looking ahead,
going beyond expectations

Ahead  *Beyond*

株式会社 荏原製作所

目次

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 経営戦略について
4. 今期の業績見通し
5. 株主還元
6. 最後に

1. 荏原製作所の概要

1. 会社概要 ※2018年6月末現在



社名	株式会社荏原製作所
創業	1912年（大正元年）11月
本社所在地	東京都大田区羽田旭町
資本金	790億円
関係会社	子会社 91社 関連会社 6社
従業員数	連結 16,541名 単体 3,931名
時価総額	3,364億円（2018年10月31日の株価）



代表執行役社長
前田 東一

1. 会社概要

荏原のあゆみと事業別売上高の推移

流体の分野の課題

環境の分野の課題

IoT、AI時代を支える
半導体製造分野の課題

風水力事業

環境プラント事業

精密電子事業



国産初の超臨界圧力用
給水ポンプ



流動床炉を備えた
ごみ焼却施設



半導体ウェーハに
微細めっき加工をする
めっき装置



半導体ウェーハを
化学的機械的に研磨し、
平坦化するCMP装置



新潟県の排水機場に
納入された大型ポンプ



サウジアラビアに納品された
海水淡水化プラント用ポンプ



半導体製造に
必要な真空をつくる
真空ポンプ



マイナス162℃の
液化天然ガスを
輸送する
クライオポンプ



設計・建設から
運営・維持管理まで
一括で受注した
ごみ焼却施設第1号



木質バイオマスを燃やして
タービンを回して発電する
バイオマス発電所



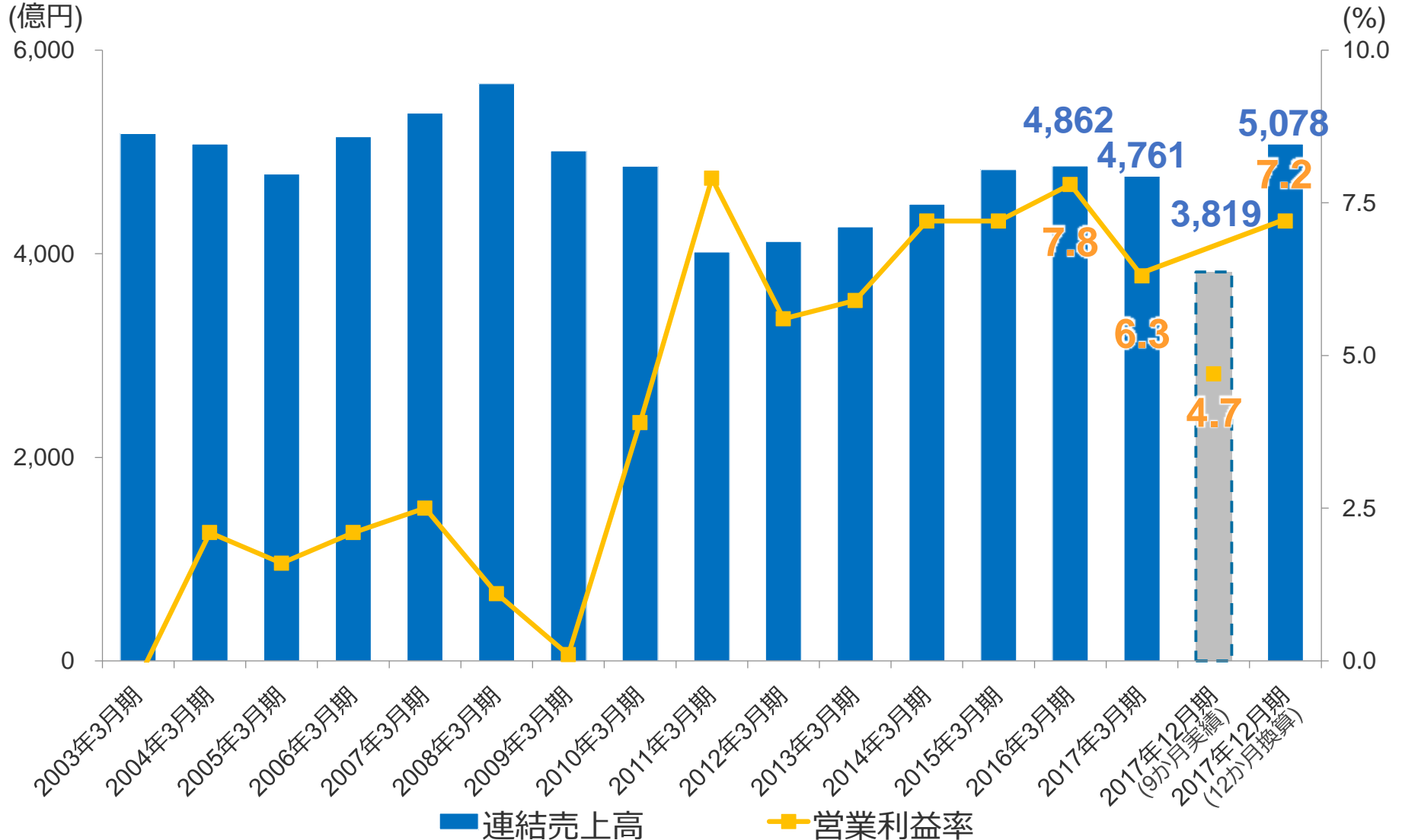
世界最高クラスの
超高率のターボ冷凍機

1960 1970 1980 1990 2000 2010 2017

技術開発を進め、生産体制を拡大	国内事業の発展と世界市場への進出	社会インフラへの投資が成長の追い風に	民間及び公共投資減により、新規事業へ注力	内需拡大に向けた公共投資増により、受注が伸長	ゼロエミッション型社会の追求	産業機械メーカーへの回帰	経営基盤を再構築	経営基盤強化から成長へ	更なる発展へ
-----------------	------------------	--------------------	----------------------	------------------------	----------------	--------------	----------	-------------	--------

1. 会社概要

売上高・売上高営業利益率の推移



1. 会社概要

直近の業績 ※2017年1月～12月期(参考値)

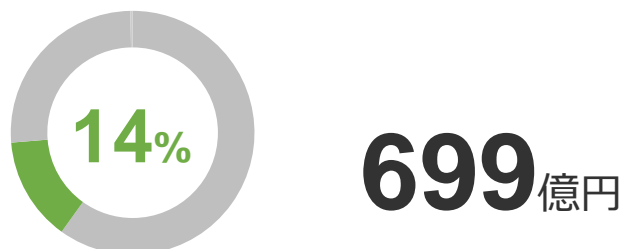
※本資料上の数値は、2017年12月期(変則9か月決算)の実績を2017年1月～12月に組み替えた数値となります。

売上高 5,078億円
 営業利益 366億円
 営業利益率 7.2%

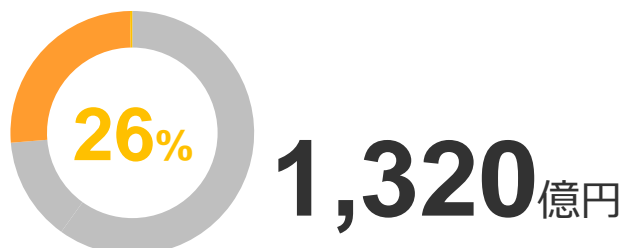
風水力事業



環境プラント事業



精密・電子事業

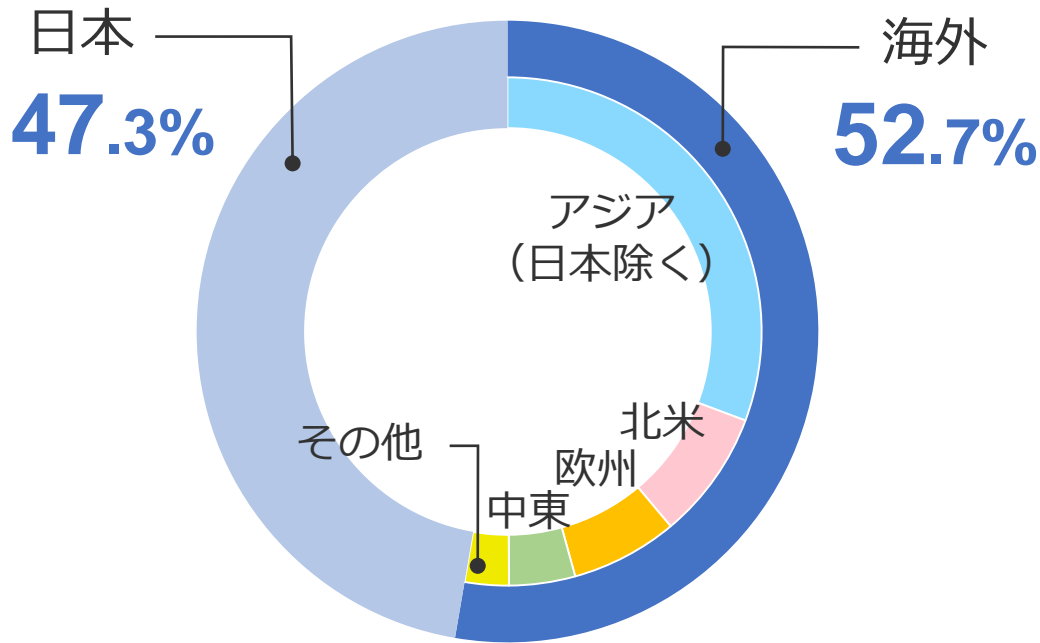


1. 会社概要

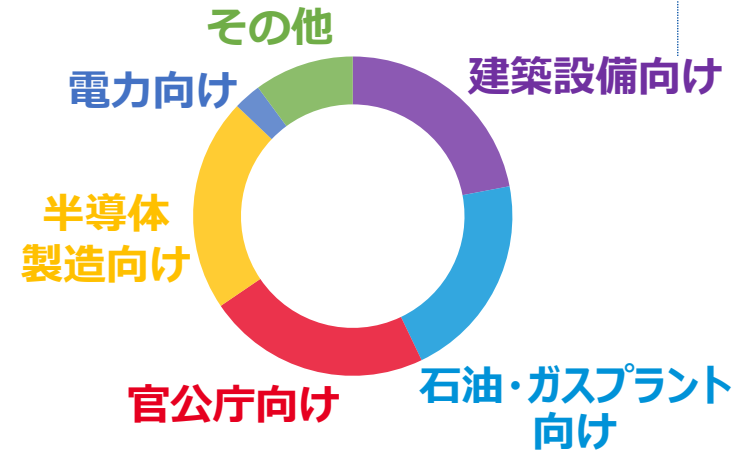
直近の業績 ※2017年1月～12月期(参考値)

売上高	5,078億円
営業利益	366億円

海外売上高比率



産業別売上高比率



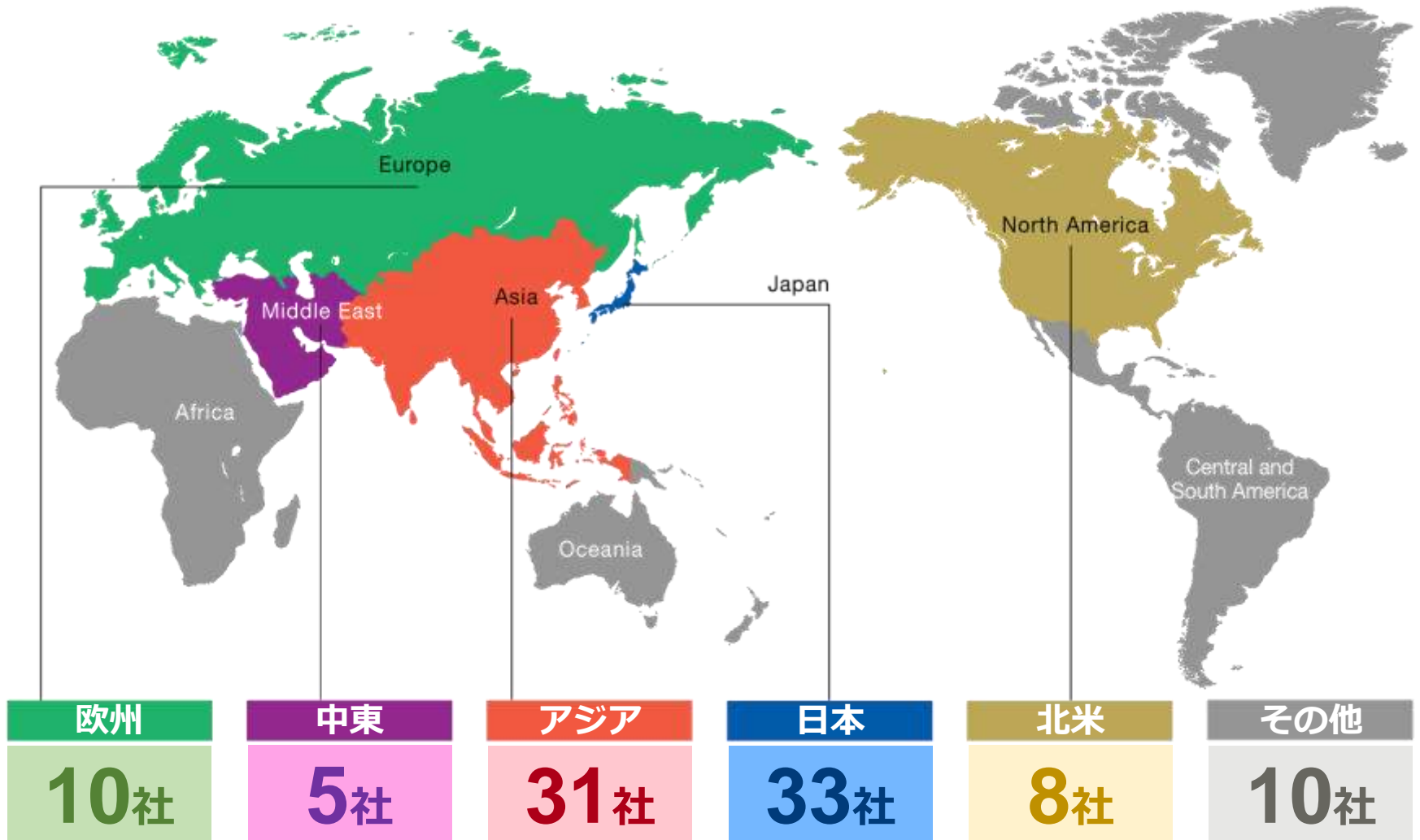
アフターサービス比率



※海外売上高比率のみ2017年3月期実績

1. 会社概要

世界に広がる荏原の拠点 (合計97社)



※2018年6月末現在の関係会社数

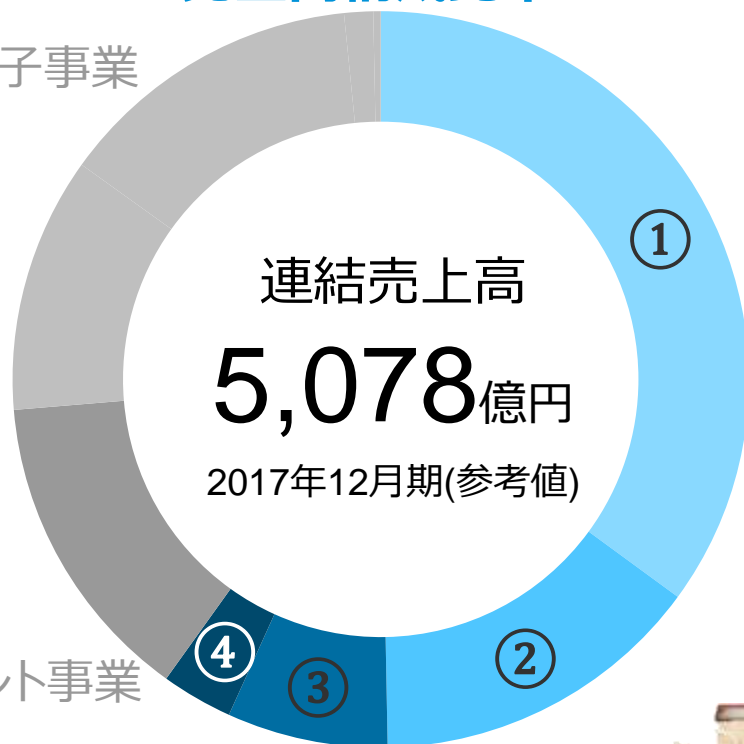
2. 事業内容

- (1) 風水力事業
- (2) 環境プラント事業
- (3) 精密・電子事業

(1) 風水力事業

売上高構成比率

精密・電子事業



風水力事業 60%

① ポンプ	1,780億円
② コンプレッサ・タービン	743億円
③ 冷熱	358億円
④ その他	159億円
合計	3,041億円



ポンプ



コンプレッサ

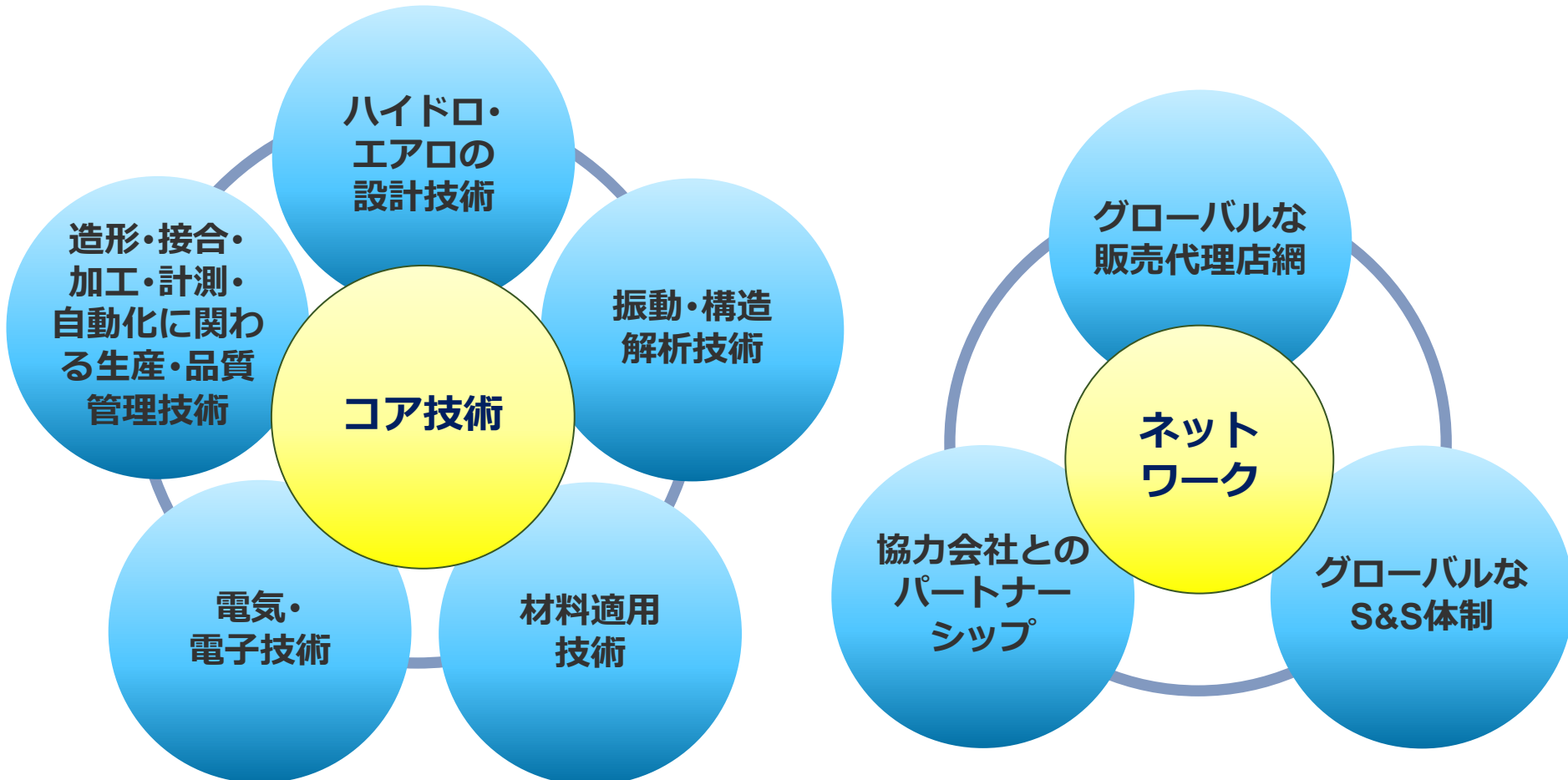


冷凍機

2. 事業内容

風水力事業の強み

競争力の基盤となるコア技術を駆使した製品開発による市場への対応力。
ネットワークを活用した販売及びサービス&サポート（S&S）体制。



風水力事業の実績

多様な市場への
対応力
水関連施設向け
発電所向け
石油・ガス・化学
プラント向け等

液化天然ガスの
製造設備向け
カスタムポンプ
世界シェア
トップ

石油・ガスプラント
(ダウンストリーム) 向け
コンプレッサ
世界シェア
約 30 %

世界における
標準ポンプ等の
年間生産台数
約 110万台
国内:約30万台
海外:約80万台

標準ポンプ
国内シェア
トップ

冷却塔
国内シェア
トップ

※当社調べ

(2) 環境プラント事業

環境プラント事業 **14%**

精密・電子事業

環境プラント 699億円

売上高構成比率



廃棄物焼却プラント



バイオマス発電所

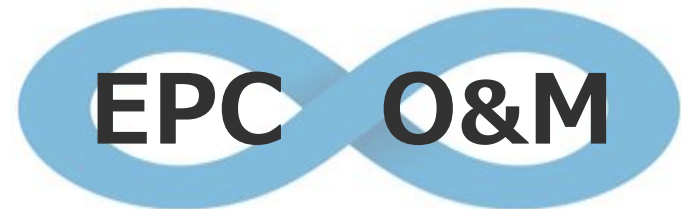
2. 事業内容

環境プラント事業の強み

設計・調達・建設（EPC）から運転管理・メンテナンス（O&M）までを一貫して請け負う体制を構築し、安全・安心のトータルソリューションを提供。



『豊富な O&M 受託実績により集積したノウハウを活かした機能的な施設建設』や『設計思想を引き継いだ適切な O&M』を実現。



一貫体制ならではの継続的な『技術力』と『現場力』のスパイラルアップを実現。

※EPC : Engineering、Procurement、Construction
O&M : Operation & Maintenance

環境プラント事業の実績

国内の廃棄物処理施設
累計納入数

300施設以上
(46都道府県に納入)

廃棄物処理施設での
累計運転管理受託数

80施設以上

廃棄物処理施設
第1号納入から

半世紀以上

運転管理施設の
発電量(2017年度)

約19万世帯分

※当社調べ

(3) 精密・電子事業

精密・電子事業 **26%**

① コンポーネント (ドライ真空ポンプ)	570億円
② CMP装置	685億円
③ その他	64億円
合計	1,320億円

売上高構成比率



環境プラント事業

風水力事業



ドライ真空ポンプ



CMP装置

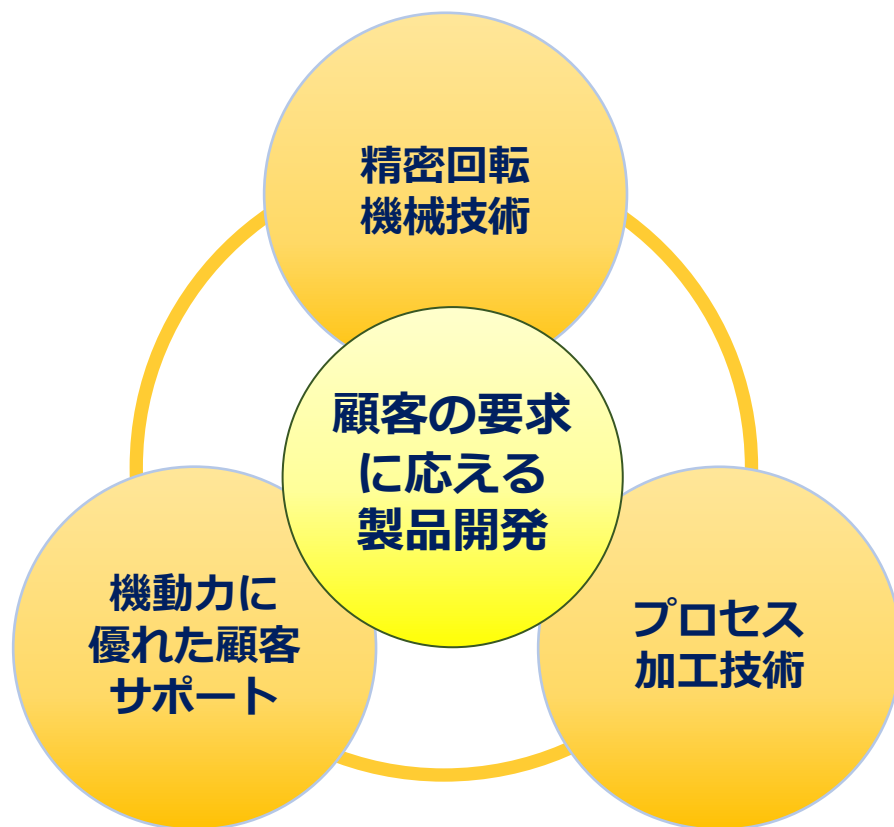


めっき装置

精密・電子事業の強み

半導体製造技術の高度な要求と変革の速度に的確に対応。

先進技術を活用したより良いサービス&サポートを提供。



TSMC社(台湾積体電路製造)から、6年連続
“Excellent Performance Award” を受賞



顧客の製品開発に寄り添ったサポートが評価

精密・電子事業の実績

CMP装置の
累計出荷台数

2,000台以上

世界のサポートショップ
及びオーバーホール工場

50カ所以上

平坦度・研磨量の
コントロール

ナノ単位
(1mmの100万分の1)

CMP装置,ドライ真空ポンプ
世界シェア

2位

※当社調べ

3. 経営戦略について

(1) 経営方針

(2) 中期経営計画 E-Plan2019

①将来のありたい姿と中期経営計画の位置づけ

②達成すべき目標

3. 経営戦略について

(1) 経営方針

- 世界規模で事業展開し続けるために、連結売上高 5,000億円を下限と認識する。
- 海外展開とストックタイプ・ビジネスの拡大により、既存の事業資源による自律的成長を達成する。
- 既存の事業資源の自律的成長に加え、一定規模の事業の合併或いは買収を成長戦略の中心に据える。
- 生産設備投資及び新製品開発、或いは既存製品の改善のための投資を継続的に行い、製品競争力を向上させる。

3. 経営戦略について

(2) 中期経営計画 E-Plan2019

① 将来のありたい姿と中期経営計画の位置付け

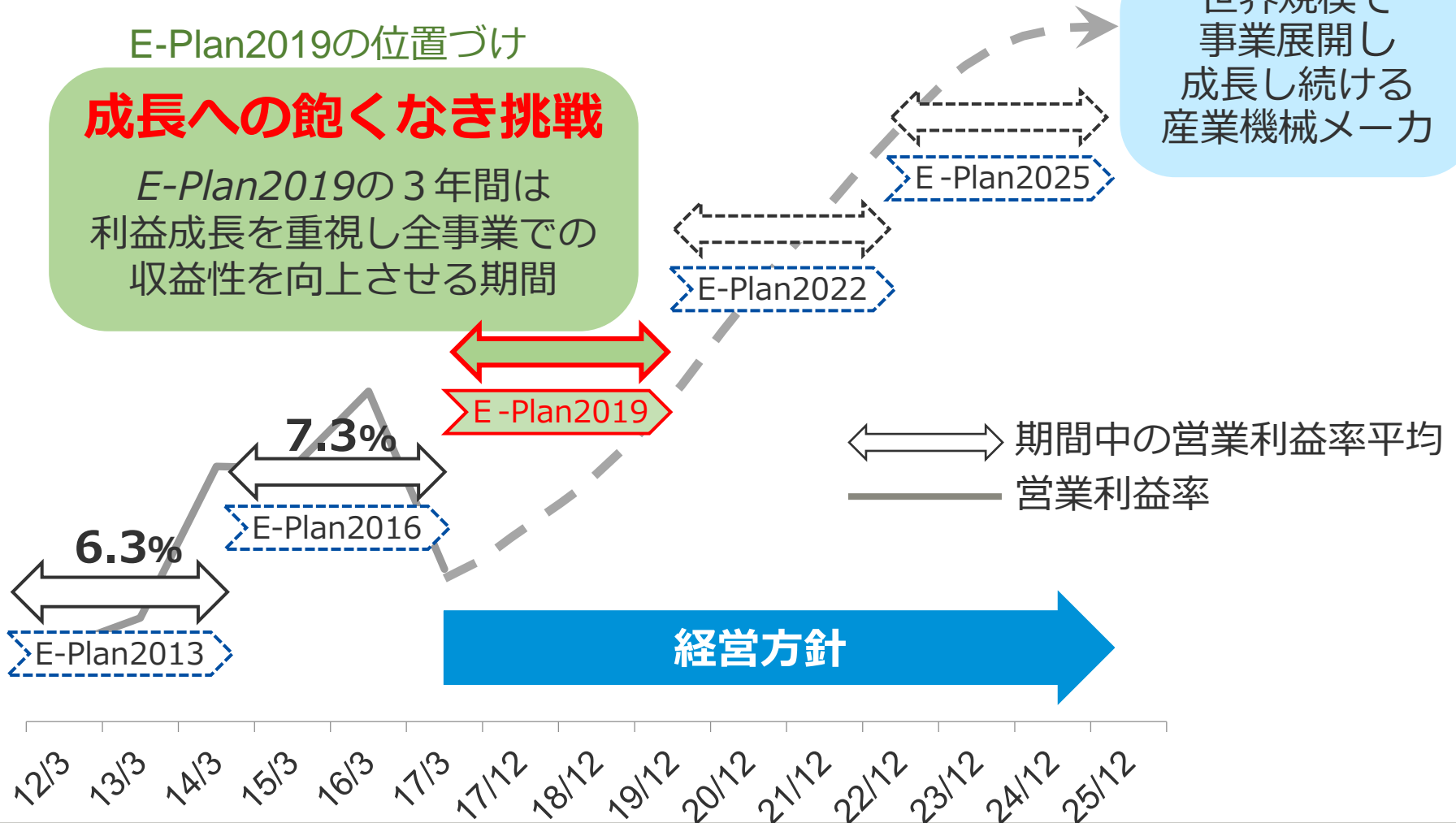
将来のありたい姿

世界規模で
事業展開し
成長し続ける
産業機械メーカー

E-Plan2019の位置づけ

成長への飽くなき挑戦

E-Plan2019の3年間は
利益成長を重視し全事業での
収益性を向上させる期間



3. 経営戦略について

(2) 中期経営計画 E-Plan2019

②達成すべき目標

E-Plan2019 目標数値

➤ ROIC 8.0%以上*

$$\text{ROIC} = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\text{有利子負債(期首期末平均)} + \text{自己資本(期首期末平均)}}$$

➤ 売上高営業利益率 9.0%以上*

風水力事業 8.5%以上

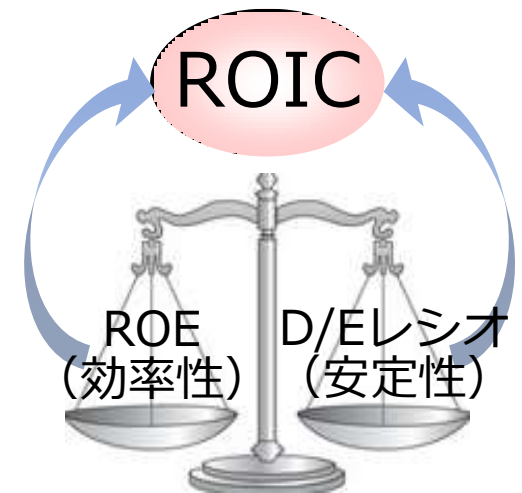
ポンプ事業 8.0%以上

コンプレッサ・タービン事業 11.0%以上

冷熱事業 7.0%以上

環境プラント事業 11.0%以上

精密・電子事業 12.0%以上



* 5,000億円以上の売上高を前提としている

3. 経営戦略について（中期経営計画達成に向けた取り組み）

トピックス1

スマートフォンで点検可能な給水ポンプを発売

国内業界で初めて、おサイフケータイ※などで使用されているNFC通信機能を給水ポンプユニットに搭載しました。

- ✓ 専用アプリをインストールしたスマホを給水ポンプにかざすだけで、機器情報や運転状況が取得可能。



給水ポンプデータ取得イメージ

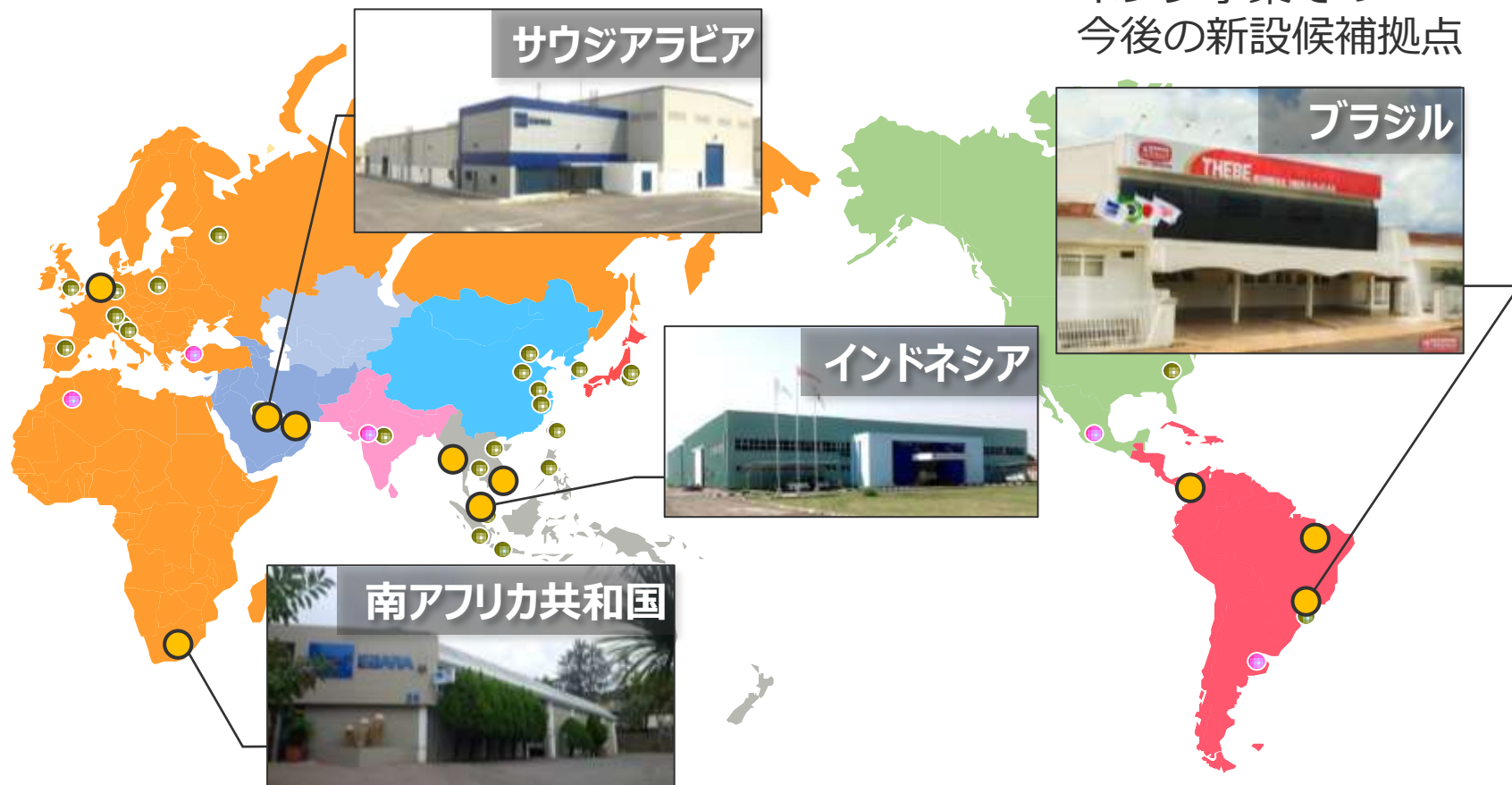
※「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

トピックス2-1

海外拠点の拡充（期間：2014年4月～2017年12月）

✓ポンプ事業の海外拠点を10カ所増

- 4年間で増やした拠点
- ポンプ事業での今後の新設候補拠点



3. 経営戦略について（中期経営計画達成に向けた取り組み）

トピックス2-2

イタリアのポンプ生産能力を增強

EBARA Pumps Europe S.p.A.は、イタリア・ヴィチエンツァ県内でポンプ工場を移転し、2018年4月に開所式を実施しました。

- ✓ 新工場の敷地面積は旧工場の約2倍
- ✓ 生産能力は1.5倍に拡大
- ✓ 標準ポンプ・モータの生産能力增強に加え、物流倉庫を一体化させることで、効率的に生産・配送を行う体制を構築



トピックス3

武蔵野クリーンセンター（東京都）

- ①環境の保全に配慮した安全・安心な施設づくり
- ②災害に強い施設づくり
- ③景観及び建築デザインに配慮した施設づくり
- ④地域社会と暮らしに配慮した施設づくり



**GOOD
DESIGN
AWARD
2017**



※2017年11月に当社HPにて掲載

トピックス4-1

熊本工場の生産能力増強

半導体製造設備の設備投資の拡大に対応するため、
工場を増設（投資金額：68億円）（稼働：2017年1月）

- ✓ 半導体製造装置⇒生産能力が従来の2倍に拡大
- ✓ ドライ真空ポンプ⇒オーバーホール処理能力が従来の3倍に拡大



熊本事業所 新工場棟



熊本事業所 サービス工場



トピックス4-2

藤沢事業所に実験開発棟を新設（2019年6月末予定）

多様化するドライ真空ポンプや排ガス処理装置の需要に効率的に応えるための開発設備と体制を構築するため、実験開発棟を新設

- ✓ 施設内容：ドライ真空ポンプ・排ガス処理措置の開発・実験棟
- ✓ 敷地面積：約2,245平方メートル
- ✓ 建設費：約10億円



4. 今期の業績見通し

4. 今期の業績見通し

2018年12月期の業績見通し

(単位：億円)

	＜参考値＞ 2017年12月期 (実績) (A)	2018年12月期 (見込み) (C)	増減 (対前期比) (C-A)
受注高	5,060	5,710	+649
売上高	5,078	5,080	+1
営業利益	366	320	△46
経常利益	354	310	△44
親会社株主に帰属する 当期純利益	227	170	△57

為替レート <参考値>
 1ドル=112円 (平均) 1ドル=110円 (想定)

※ 「<参考値>2017年12月期 (実績)」として示す数値は2018年12月期の業績を同一期間と比較するために2017年12月期 (変則9か月決算) の実績を2017年1月から12月に組替えた数値 (非監査) です。

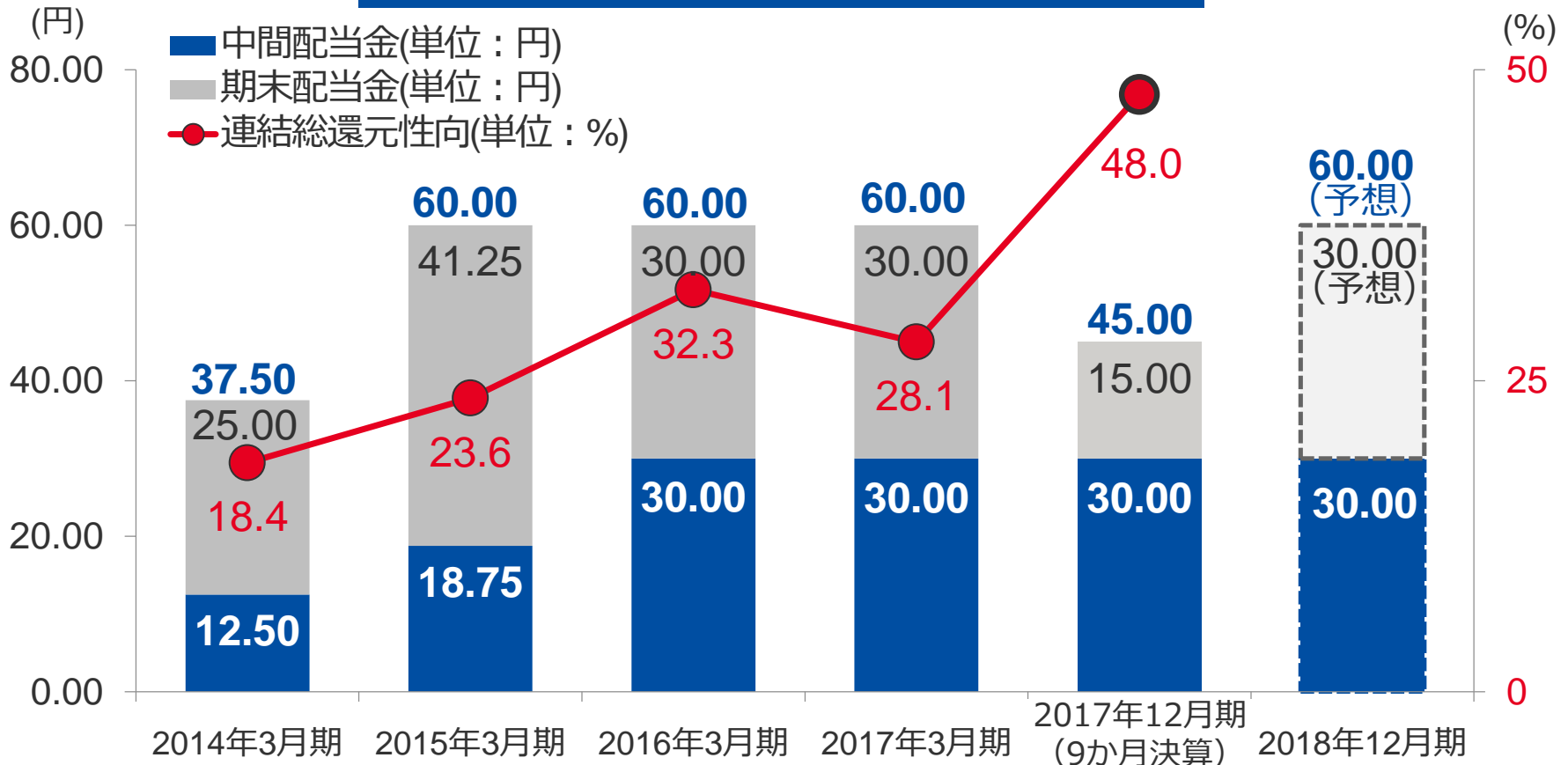
5. 株主還元

5. 株主還元

株主還元の方針

株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つと位置付けており、連結総還元性向30%以上を目標としています。

配当金及び連結総還元性向の推移



自己株式の取得

資本効率の向上を図ることを目的に、自己株式の取得を行うことを決定しました。

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	2,000,000株（上限） （発行済み株式総数に対する割合：1.97%）
株式の取得価額の総額	5,000百万円（上限）
取得期間	2018年11月14日～2018年12月20日

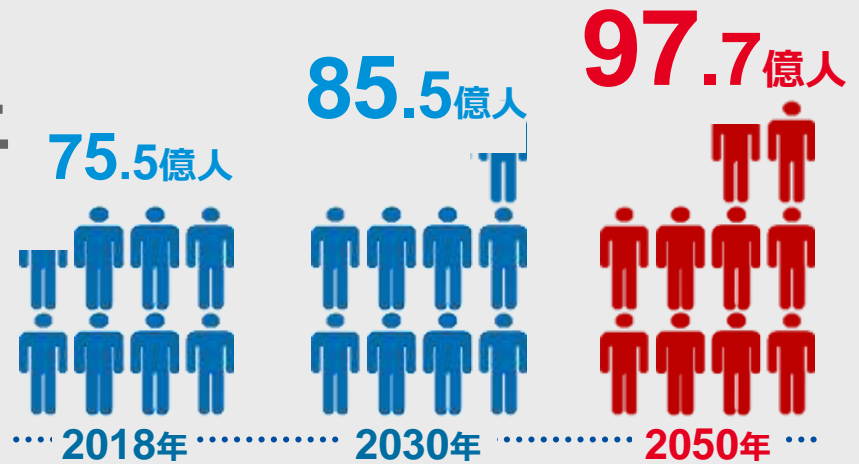
6. 最後に

6. 最後に

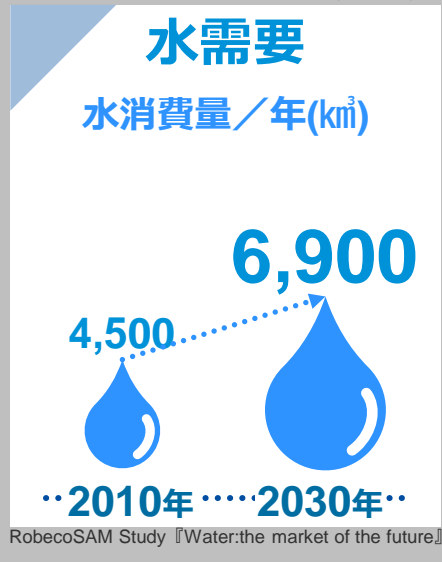
荏原の活動フィールドの成長性

- ✓世界人口の増加
- ✓新興国における生活水準の向上

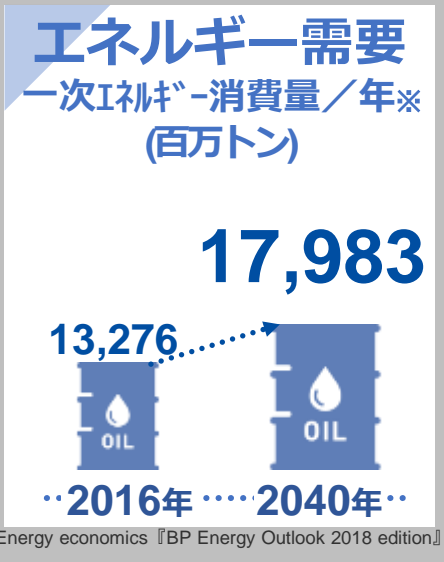
人口増加と
生活水準向上に伴う
様々な需要の増加



住友商事グローバルリサーチ『2050年に向けた産業メガトレンド』



RobecoSAM Study 『Water:the market of the future』



Energy economics 『BP Energy Outlook 2018 edition』



株式会社廃棄物工学研究所プレスリリース
『2050年の世界の廃棄物発生量の推計は220億トン』



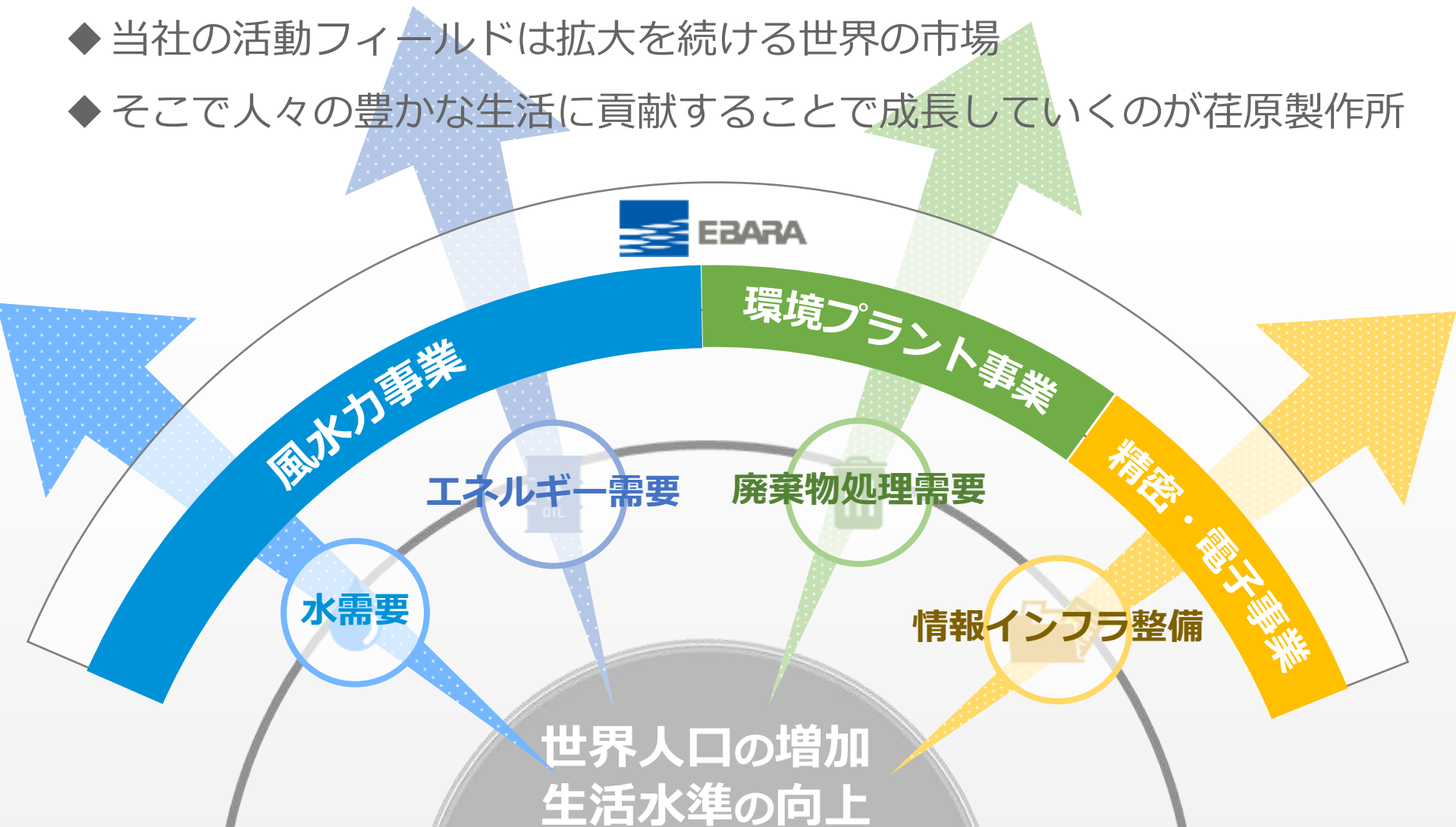
みずほ証券『みずほ未来予想2018』

※石油換算

6. 最後に

荏原の活動フィールドの成長性

- ◆ 当社の活動フィールドは拡大を続ける世界の市場
- ◆ そこで人々の豊かな生活に貢献することで成長していくのが荏原製作所



ご参考

- (1) 財務データ
- (2) 株価の推移
- (3) Webサイトのご案内
- (4) 地域・社会とのコミュニケーション
- (5) 株主様とのコミュニケーション
- (6) 外部からの評価

(1) 財務データ

(単位：百万円)

	2008.03	2009.03	2010.03	2011.03	2012.03	2013.03	2014.03	2015.03	2016.03	2017.03	2017.12
経営成績											
受注高	597,944	481,399	426,622	430,992	394,922	428,540	512,276	487,554	491,280	477,956	413,569
売上高	567,191	501,149	485,889	401,676	412,077	426,302	448,658	482,700	486,235	476,105	381,993
営業利益	6,017	638	18,953	31,542	23,267	25,084	32,195	34,567	38,011	29,996	18,115
経常利益	2,757	(2,383)	16,774	28,750	21,087	25,663	31,311	36,258	36,472	28,465	16,529
親会社株主に帰属する当期純利益 (損失)	7,609	(13,113)	5,442	28,192	2,890	15,303	18,974	23,581	17,254	20,588	9,531
減価償却費	15,316	15,180	15,274	13,524	12,765	12,356	12,118	13,039	11,611	13,739	11,923
資本の支出	22,381	23,560	19,484	8,189	12,316	12,302	18,153	15,847	15,730	22,675	12,386
研究開発費	10,812	8,829	4,977	4,067	3,827	5,026	6,465	6,754	7,633	8,759	7,218
財政状態											
総資産	607,007	562,456	522,540	507,898	488,964	504,576	530,211	570,392	579,860	588,458	612,919
純資産	155,263	124,264	132,665	154,938	154,656	191,786	215,047	247,553	250,445	277,509	284,788
自己資本	151,243	121,411	129,806	151,951	151,063	186,883	208,036	239,059	241,017	271,357	277,955
有利子負債	184,459	181,556	177,859	160,413	143,617	138,914	119,673	121,501	120,127	96,531	114,592
利益剰余金	24,256	7,316	12,568	40,760	41,752	53,886	70,629	91,816	102,446	117,884	121,321
キャッシュ・フロー											
営業活動によるキャッシュ・フロー	(6,317)	17,439	23,582	26,604	12,589	34,014	26,615	11,296	21,528	33,816	44,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,771	(2,774)	(17,128)	10,997	(8,838)	(33,131)	3,539	(15,894)	(14,343)	(18,564)	(7,906)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(21,807)	(3,233)	(5,437)	(14,096)	(19,998)	3,264	(25,337)	(7,045)	(9,655)	(15,102)	11,296
フリー・キャッシュ・フロー	25,454	14,664	6,454	37,601	3,751	883	30,154	(4,598)	7,185	15,252	36,250
現金及び現金同等物残高 (期末)	69,160	77,194	81,712	104,003	87,296	93,791	102,338	95,603	91,185	90,683	139,102

(2) 株価の推移



出所：Yahoo!ファイナンス

(3) Webサイトのご案内



当社のWebサイトでは、製品情報からIR情報まで、皆様に当社をご理解いただくための各種情報を発信しています。
また、最新情報だけでなく過去のIR資料の掲載や株主総会の動画配信なども行っております。ぜひご活用ください。

<https://www.ebara.co.jp/index.html>

ケータイ、スマートフォンの
バーコード読取機能で簡単アクセス



----- ホームページ掲載資料のご案内 -----



会社案内

ステークホルダーの皆様に、当社が行っている事業内容や取扱製品、沿革等の基本情報を紹介しています。



統合報告書

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、当社グループが中長期にわたり企業価値を創造するプロセスなどを紹介しています。

----- IRメール配信サービスのご案内 -----



本サービスは、事前にご登録いただいた方のメールアドレスに最新の適時開示や最新のニュースリリース等のIR情報をお届けするサービスです。
当社の日々の活動についてご理解を深めていただくため、この機会にぜひご登録いただければ幸いです。一人でも多くのご利用をお待ちしております。

ご登録はこちらから >>> <https://www.ebara.co.jp/about/ir/index.html>



(4) 地域・社会とのコミュニケーション

海外技術セミナー

「地域社会とともに生きる荏原」という理念のもと、当社が培ってきた技術や経験を世界各国の社会基盤の整備や改善に役立てるため、東南アジアの大学を中心に無償の技術セミナーを実施しています。



ポンプ組立実習の様子



寄贈したポンプ教材

スポーツ協賛

各種スポンサー契約を締結し、地域スポーツの振興・発展に貢献しています。



トビウオジャパン
(水泳)



©SHONAN BELLMARE

湘南ベルマーレ
(サッカー リーグ)



東京羽田ヴィッキーズ
(バスケットボール Wリーグ)

(5) 株主様とのコミュニケーション

株主総会

毎年3月に定時株主総会を開催いたします。



年2回の株主様向け報告書の発行

毎年3月と9月に報告書を発行いたします。



株主様向けイベント

工場見学会や現場見学会などを実施しています。

《2018年度実績》

- ・大阪支社で会社説明会
- ・環境プラント事業の現場見学会
- ・袖ヶ浦事業所見学会



(6) 外部からの評価

社会的責任投資 (SRI) 指標の構成銘柄への選定状況



FTSE4Good

FTSE4Good Index Series



FTSE Blossom
Japan

FTSE Blossom Japan Index



モーニングスター社会的責任投資株価指数



2017 Constituent
MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数



2017 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数

※ 当社のMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進ではありません。
MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

ダイバーシティ、健康経営の取り組みへの認定



えるぼし



2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500
健康経営優良法人2018

【資料に関するご注意】

本資料にて開示されているデータ及び将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので種々の要因により変化する事が有ります。従って、本資料は記載された目標、予測の達成及び将来業績を保証するものではありません。

また、本資料及びこれらの情報の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料を利用した結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。